

令和5年度 第1回 横浜市芸能センター指定管理者選定評価委員会 会議録

- 1 日 時 令和5年8月10日（木）午後3時24分から午後5時15分まで
- 2 場 所 横浜にぎわい座小ホール（のげシャール）
- 3 出席者 垣内 恵美子 委員、加世田 恵美子 委員、廣瀬 哲也 委員、吉永 崇史 委員
- 4 欠席者 無し
- 5 傍聴者 無し

6 議事内容

議題	1 令和4年度業務評価
委員意見等	<p>1 定足数の確認 委員数4名のうち4名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</p> <p>2 本委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜市芸能センター指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、公開とした。</p> <p>3 審議事項「令和4年度業務評価」</p> <p>(1) 評価関係資料について</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 評価資料及び評価方法の確認 事務局から、評価に使用する資料、評価方法について説明があった。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 指定管理者業務実績及び自己評価について 指定管理者から、令和4年度の文化事業、施設運営、施設管理及び収支決算などについて、実績及び自己評価についての説明があった。</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 行政評価について 評価表に基づき、事務局から行政評価について、要点の説明があった。</p> <p>(2) 指定管理者へのヒアリング、評価・改善点の説明 委員から指定管理者に対する質疑及び評価内容（評価する点、更なる取組を期待する点）の説明を行った。</p> <p>《評価内容の説明》 「I文化事業」について</p> <p>《質疑》 委員 落語以外の芸能の不振が顕著との話があったが、色々ある演芸の種類の中で集客が見込めないものがあるが、芸をやっている人が少なくなっているのかなど具体的な分析についてお伺いしたい。</p> <p>指定管理者 集客が見込めないものが落語以外の芸能となっている。落語の場合は、若手の育成が落語界全体でできているので、寄席が機能し、順番にス</p>

ターが生まれ、話題性もあり、お客様が入りやすい。

委員 野毛飲食業協同組合との連携の結果をお聞かせいただきたい。

指定管理者 以前から1ヶ月に1回ポスターを作成し何十店舗かに配布し貼っていただくなどご協力をいただいております、加えて令和4年度は「野毛名物の落語会」を3回開催し公演のちらしを飲食店でも配布していただいた。野毛に視点を向けた公演を作ったということに対していい評価をいただいたと思っている。コロナが落ち着いたら、以前実施していた半券を持参すると割引が受けられる特典など積極的なタイアップをしていきたい。

委員 横浜にぎわい寄席の初来館者の割合の指標について、現実的に数字を取るのが難しいのなら見直したらどうか。

指定管理者 コロナの影響で紙のアンケートを自粛し、ここ2年ほどウェブでのアンケートを続けている。そのためアンケートの回収率が下がっているが、今年度から紙のアンケートを復活した。公演チケットの購入はネットやコンビニ等様々な手法があるが、区民優待デーは窓口販売のみとなる。来年度は2つの区で区民優待デーを行うので対面でのアンケートを取りたいと思っている。

委員 団体客の戻りについて、また市民サポーターとの連携についてお聞かせいただきたい。

指定管理者 コロナの影響がなかった平成30年度は、年間99団体の申込みがあったが、令和3年度は8団体と10分の1になり、人数では約3,500人から100人台になった。それが令和4年度から5年度にかけて戻ってきており、今年度は8月までで9団体、人数は300人の団体客がいる。このままいくと2年ぐらいで平成30年度のベースに戻せるのではと思っている。

落語や大衆芸能が好きな短期雇用の受付スタッフが退職した後、地元の団体を連れてくるケースが多く、その団体鑑賞の実施に向けた活動を市民サポーターとして今後育てていきたいと思っているのと、野毛の飲食店が潜在的なサポーターなので、そこのタイアップも検討していきたい。

委員 オンラインの使い方の可能性について昨年から何か進んだのか状況をお聞かせいただきたい。

指定管理者 公演の動画配信は整理しなければならないことが多く、難しいと思っている。ホームページを活用した配信では、動画ではないが館長がにぎわい座芸人伝という連載を行っており、コンテンツも増えている。令和4年度制作を開始し、先日公開を始めた「芸能散歩」は落語の舞台となった土地の現在の姿を紹介するというコンテンツとなっており、にぎわい座オリジナル番組となっている。今後芸能の知識や教養をお伝えするものとしてこの部分は継続していきたい。また、「電子根多帳にぎわいのとびら」に関しては、全ての公演の情報を公開している。前回の委員会でいただいたアドバイスを取り入れて、バナーに説明を加え、アクセスしやすいよう変更した。

【評価する点】

- ・にぎわい座ならではの工夫ある公演や20周年事業をされており、楽しい公演が増えている印象。コロナの影響が残る中で、入場者数を増やすことができたのは素晴らしい。登竜門シリーズに登壇した芸人が受賞や真打昇進したことは本当にうれしく、これまでの歩みが実を結んだと思っており、継続的に実施しているところを評価したい。
- ・展示の回数が目標以上で大きく成果を挙げた。
- ・開館20周年事業は入場者数の大幅な増加となり、アピールにも繋がり成果を挙げることができた。
- ・こども寄席、寄席体験プログラム、紙切りなどの体験の場を提供するなど次世代のファン創出に積極的に取り組んだ。
- ・コロナ禍が続く中、創意工夫を凝らし、公演だけでなく展示やアウトリーチなどを含めた多様で多彩な事業を展開したことは高く評価できる。
- ・地域のにぎわい創出のために関係近隣団体との積極的な演芸活動を進められ、大道芸やコンテンポラリーダンスは素晴らしい業績だった。

【更なる取組を期待する点】

- ・外国人向けの事業、インバウンドが増えてくるという状況があるので、どのように取り込んでいくか、取り込み方が難しいが日本語学校や市内大学の留学生などへのアプローチも取っ掛かりになるのではないかと。
- ・日ノ出町駅からにぎわい座までの徒歩ルートにおいて、ポスターや看板などの案内表示があると、地域での存在感が高められる。
- ・横浜にぎわい寄席の初来館者の割合の指標について、現実的に数字を取るのが難しいのなら今後につなげていける指標に見直すことも検討してほしい。
- ・若手演者との縁を軸に落語を中心としたワークショップの展開など立体的な活動を進めてみることも検討してほしい。
- ・若手の登竜門の継続は、効果がでるのにタイムラグがあるので、そこをどのように考えていくのかは引き続き検討いただきたい。
- ・学校関係のアウトリーチは将来必ずいい方向に繋がると思うので、継続してほしい。
- ・世代交代や新たな観客の取込みなど今後も注意深く観察し、その知見を活かした事業展開を望みたい。
- ・オンラインの活用について、効果を検証しながらできるところから推進されたい。

「Ⅱ施設運営」及び「Ⅲ維持管理」について

《質疑》

委員 小ホールの利用率向上に向けて、どのように考えているのかお伺いしたい。

指定管理者 空き状況をホームページでお知らせすることを現在実施しているが、施設の予約システムとホームページを連動させてその日空いている施設がすぐに探せるというようなことを他施設で取り入れているので、当館でも

できるのではないかと考えている。また、貸出しについて、市内のほかの公共施設が秋から全てオンラインで貸出しができる仕組みを取り入れると聞いているので、参考にしながら取り入れられるところは取り入れたいと思っている。

委員 お土産販売が増えている理由をお伺いしたい。

指定管理者 20周年のときにつくった林家たい平師匠にイラストを書いていたオリジナルの記念バッグを400枚作成しほぼ売り切れた収入が大きかった。

委員 人件費で人事異動による増加と記載されているが、来年度以降についてどのような見込みなのかお聞かせいただきたい。

指定管理者 今年度は既卒者・大学卒業者で新規採用を2人配置しているので人件費はおそらく下がる。財団全体として近年は毎年大卒10年未満の若手職員を採用することになっているので職員も少しずつ若返っていくのではないかと思う。

委員 施設の経年劣化が進んでいく中で、施設の修繕計画はどのようになっているか。

市 市では全庁的に施設の管理者による日常点検などを基に修繕の時期を決定するという状態監視保全で施設の管理をしており、点検しながら必要な箇所については修繕していくという形でおこなっている。

【評価する点】

- ・バックステージツアーなど寄席囲いを使用した公演前後のホールを活用し有効な施設利用に努められた。
- ・組織運営のため、職員・スタッフに対する様々な研修を行い、効率・効果的に運営した。
- ・法令に基づいた適切なメンテナンス対応の実績を評価する。

【更なる取組を期待する点】

- ・サービス維持向上のため、来場者対応を担当するにぎわいスタッフを十分確保していただきたい。
- ・小ホールの利用率向上に向けて、アンケートの分析結果を踏まえ、利用者の利便性を追求した取組を期待する。
- ・20年経過した施設の利用環境向上のため、様々な方策を検討していただきたい。

「IV収支」について

《質疑》

委員 光熱費の高止まりについて、指定管理者の努力の範囲を超えてしまうがこのあたりの考え方について伺いたい。

市 令和4年度は物価高騰対策ということでにぎわい座については460万円、補正

という形で運営支援させていただいた。令和5年度の指定管理料は令和4年度の指定管理料の3%にあたる640万円を上乗せした。

委員 食品販売の再開に向けて、今後の目途や売り上げについての見解を伺いたい。

指定管理者 コロナが5類に移行してから色々な規制を外したが、館内でのアルコールと公演を見ながらの食事はお断りしている。何かのタイミングでお弁当は解禁したいと思っていたところ、コロナの感染者も増えてきた現状があり、まだ踏み込めない。

【評価する点】

- ・共催事業の誘致等に積極的に取り組み、目標を上回る利用料金収入を得ることができた。
- ・コロナ禍や物価高に対応するために文化庁等からの外部資金獲得により黒字収支としたことを評価する。
- ・舞台スタッフの配置を見直し人件費の抑制につなげるなど工夫ある経費削減に努められた。

【更なる取組を期待する点】

- ・次年度以降の事業収入と助成金などその他収入のあり方について、検討されることを期待する。
- ・事業費を抑制されているようなのでサービス低下にならないよう、質の維持に影響がないか検証しながら節減につなげて欲しい。
- ・今後も光熱費の高止まりが見込まれるので、長期的な観点から総合的な収入増に向けた積極的な取り組みを期待したい。

「その他」について

- ・課題について、具体的な解決策やアイデアを書いていただくと、さらに踏み込んだ意見交換ができるのではないかと。
- ・委員会開催時期について、今年度の改善に繋げていくためにもう少し早められると、よいのではないかと。

「総括」について

- ・コロナ禍の影響がある中で、様々工夫され利用率が向上したことを高く評価する。20周年事業の盛り上がりや野毛地区との連携、若手演者の表彰もこれまで積み重ねてきた結果が得られたのだと思う。
- ・若手育成に積極的に取り組まれているので、引き続き手厚く取り組んでいただきたい。子供向け・学校向けのプログラムは展開の余地があるので、次世代に向けた文化芸能に触れる機会のさらなる創出を期待する。
- ・今後は20年経過した施設の安全環境の維持とコロナ後に予想される訪日外国人向けの企画の実施を期待する。
- ・コロナ禍前の状況に戻りつつある中で、コロナ禍前の運営体制に戻すのではなく、社会の変化を見据えながらより一層の発展的な取り組みを期待す

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍、ウクライナ侵攻、物価高騰、人口減少など外部要因の激変の下で、柔軟かつ機動性を持った事業展開をされた。・限られた資源の中で、選択と集中をどのように考えていくのか、公益性の高い事業と収益が見込める人気公演のバランスをどのようにしていくのか、制度的制約や現状を踏まえて検討いただきたい。 <p>4 まとめ</p> <p>本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。</p>
--	---